



クルマのまち

さかほぎ

人口8,168人 (対7月比 62人減)

2020.10.1 現在

Sakahogi gikaidayori

2020.11.1

No.166

年4回発行
(定例会毎)

議会だより



どうなってるのか教えてちょ〜 一般質問 …… 2～8	委員長から報告があります! …… 12
9月定例会 議案と審議結果 …… 9	8月臨時会 議案と審議結果 …… 13
議会の決定で町はどう変わるの? …… 10	コロナ差別を許さない 緊急メッセージ …… 14
意見書を採択しました …… 11	



どうなっとるのが 教えてちょ〜!!



和田雅彦 議員

問

コロナ禍における新しい生活様式の実践と定着を①

新型コロナウイルス感染症対策にかかる町主催のイベント、行事の開催基準はどの様になっているのか、今後実施していくイベントについてはどうなるのか。町独自の判断基準を策定すべきではないのか。

答

企画課長

岐阜県が示している「コロナ社会を生き抜く行動指針」に基づき開催の可否を判断しています。町民まつり・健康福祉フェスティバルは不特定多数の方が対象となり飲食を伴う為中止と判断しました。町独自の判断基準は設けていませんので、今後も県の指針を基準として可否を判断していきます。

答

教育課長

マラソン大会中止とし、公民館祭りは内容を吟味して開催をしたい。成人式は対象者の意向を調査し実施に向け準備しますが、ヘリコプター飛行に関しては延期等も考えられます。

問

コロナ禍における新しい生活様式の実践と定着を②

自治会行事等について町は、どの様な要請や対応を取っているのか。

(総会・清掃・防災訓練・敬老会等)

答

企画課長

基本的に開催などに関しては各自治会の判断になります。総会等の相談があった場合には書面決議などの実施や、対策徹底を前提に班長までの開催を提案しています。

敬老会に関しては例年の形式による開催は遠慮していただき、すべての自治会で記念品の配布を実施することとなりました。

答

副町長

自治会長は行政連絡員であり、自治会組織は任意の団体です。一斉清掃、防災訓練についても自治会への実施要請はせず、各自治会で判断していただくものと町は考えています。



中止となった坂祝町民まつり



松田和樹 議員

問 防犯について

坂祝町の刑法犯認知件数は、平成27年102件、28年63件、29年72件、30年63件、令和元年51件であり、過去5年間の平均が70.2件となっています。町としても日々、犯罪防止に努めて頂いているところではありますが、さらなる抑止方策の為に防犯カメラ設置、啓発活動の強化をしてはいかがでしょうか。

答

総務課長

令和元年度には、3箇所に防犯カメラを設置しました。抑止効果として、「防犯カメラ設置」という表示も行っていますので、一定の効果がみられるのではないかと思います。また、もしもの時にはデータの確認ができる体制となっています。しかし、利用者への周知についても、自転車にツーロックをするなど、自己防衛策もとっていただきたいので、そういった注意喚起の看板の数を増やす必要もあると考えています。今後については、防犯カメラを町内の通学路等に増やしていきたいと考えています。



坂祝駅前防犯カメラ



河村利道 議員

問 子育て支援拠点整備事業について

子育て拠点施設については、これまで多くの協議を重ね、建設予定地も決まり、いよいよ造成の段階に入ってきました。この事業は、町子育て支援実施のため欠かすことのできない重要な拠点であり、子育て世代の親御さんや利用される子どもたちも施設の完成を心待ちにしております。寄附を頂いた土地は樹木が沢山あり、これらを活かして緑地を取り込み、更には子どもからお年寄りの憩いの場としても活用できるよう設計されたい。規模や、いつ完成見込みなのかお尋ねします。

答

こども課長

子育て支援拠点施設については、これまで町民の方々にご参加頂いたワークショップや議員の皆様と議論、協議を重ね進めてきました。

施設の規模としては、平屋建て延べ面積が約1,100㎡です。用途は、現在のコミュニティセンターで行われているつくんこ教室、アンブレラの事業となります。つくんこ教室では、個別指導室、指導訓練室や遊戯室、大ホール等設置し、アンブレラについては、1部屋で102㎡となります。環境については、樹木を活かし緑地を考慮した設計とします。国・県への補助金申請等を行い、出来る限り早期完成を目指します。

問 シルバー人材センター作業場兼事務所移転について

シルバー人材センター作業場兼事務所移転については、以前からの懸案事項でもありました

が、平成28年4月、町長に「作業場兼事務所及び会議室の建設」について要望書を提出して以来4年の歳月が経過しています。途中平成31年定例会で一般質問をさせて頂き、町では前向きに検討され、この度移転先も決まり現在造成工事を着工されていますが、規模と今後の完成予定等お尋ねします。

答

福祉課長

建設予定地については、シルバー人材センター事務局のご意見を確認しながら選定し、取組西公民館付近を計画しています。規模等についても、事務局と綿密な協議を行いながら、必要な機能や間取りなどを詳細に詰めていきます。

施設完成までの日程については、令和3年度内に完成となるよう進めていきます。

また、高齢者の就業機会の確保のみならず、生きがいつくりや集いの場所として地域の活性化にもつながる、大変待ち望まれている事業となりますので、なるべく早い段階で移転できるよう努めていきたいと考えています。



現在の坂祝町シルバー人材センター



新井谷正代 議員

問

坂祝町長寿命化計画と公共施設の今後について

坂祝町長寿命化計画策定の進捗状況は？

答

総務課長

現在は、1次評価の実施が終わり2次評価、3次評価を実施していきます。今年度2月末を目途に皆様に報告したいと思っています。

問

- ①幼稚園・小学校・中学校はいつ大規模な補修が必要になってもおかしくない年数を経ています。なくてはならない公共施設であり、子どもたちが一日の多くを過ごす場所であり安全で過ごしやすいあるべき。長寿命化対策で補修を重ね多額の補修費になってしまったとなるより、近い将来建て替えが必要だと考えるが町長の考えは？
- ②危険箇所にある中学校は移転し幼稚園・小学校・中学校を同じ敷地に建てるのが良いと考えるが町長の考えは？
- ③どのタイミングで検討に入るのか？
- ④建設は国や県の補助金で100%賄えない。少しずつでも建設のための目的基金を積んでいくべきだと考えるが町長の考えは？

答

町長

- ①安全性を第一に考え、町の財政運営に無理が生じないように検討していきたい。
- ②今の時点で、移転・場所等の検討に入ってしまう事は必要がないと考えます。
- ③10年を目途に結論を出していきたい。
- ④例え少額でも基金の積み立てをしたいと考えている。

問

町民プールの方向性についてどのような調査・研究を行ったのか？そして今後の方向性は？

答

教育課長

現時点では方向性は定まっていますが、ぎふPPP/PII推進フォーラム（岐阜県など

が共催し、公共施設の有効活用を研究する会議)にエントリーし、そこで意見をもらいながら、民間主導での公共施設の活用を検討していきます。そのほかにも更地にして駐車場としての活用や売却等多方面で調査・研究をしています。福祉・教育ゾーンの位置づけは損ないたくないと考えています。最終的な方向性を令和3年3月までに決定します。



営業を中止している町民ふれあいプール



松田賢治 議員

問

農業の新しい生活様式と坂祝町農業ビジョンについて

農業関係も新しい生活様式の対応が求められる。持続可能な地域農業の定着・あり方、揺らぐ集落経営を支える活動支援のあり方、坂祝町農業ビジョンの策定を求める。

答

産業建設課長

坂祝町としては、国の補正予算で措置された経営継続補助金・肉用子牛生産者補給金制度・資金融資制度・高収益作物次期作支援交付金にそれぞれ対応しています。加えて地方創成臨時交付金の活用を実施及び計画中です。坂祝町農業ビジョン策定・実施状況については、兼業農

家・時給的農家の方々も重要な担い手と位置づけ、「地域の農業は地域で守る」という基本的な考え方を念頭に、既存の多面的機能制度や土地改良事業の充実を図り、新しい生活様式に配慮した上で今後の意向把握を進めていく予定としています。

問 市町村合併の評価について

理念なき平成の大合併が市町村にもたらしたものは何か？合併選択の是非の評価を求める。

答

副町長

坂祝町は、合併破綻後からこれまで多くの住民サービスを行ってきました。この経営状況をもって、町としての合併の議論が必要であるとは考えられません。自主的に合併が必要とならない限り、広域的な組合や定住自立圏構想等の広域連携の充実を図りながら、行政運営を進めていくことが、現在のベスト政策であると申し上げ答弁とさせていただきます。

問 柴山町長の公約実現について

第2期子ども・子育て支援計画が4月1日からスタートしました。柴山町長の「3つの最優先の公約」子育て支援の公約実現の本気度は？マニフェストには総合計画と同等の評価が組み込まれている。住民自治を進める公約の意味とその要素について確認する。

答

町長

今年度作成される総合計画は、私にとっては、大きなマニフェストと位置づけており、公約の3本柱にリンクし、町及び町民のために、将来に向けて町づくりが確実にできると確信しています。今後、



町の財政も考慮しながら、公平・平等を基本に本当に困ってみえる町民に手を差し伸べていきたいと考えております。

町にとって解決しなければならない課題が、まだ多くありますので、順次取り組んでいきます。



小島利成 議員

問 「防災ガイドブック (新しいハザードマップ)」 の活用について

7月初旬の豪雨により、町内の木曾川も避難判断水位近くまで水位が上昇、勝山陸閘も閉鎖の一手手前までに至りました。

木曾川堤防は完成しましたが、「新丸山ダム」はまだ本体未着手で安心できません。

本年3月「防災ガイドブック」が全戸配布されましたが、どのような経緯で発行されましたか？また、各家庭では、どれくらい周知されているか？また保存されているのか？町でフォロー（追跡）されていますか？

答

総務課長

平成30年7月豪雨で西日本を中心に甚大な災害が発生し、ハザードマップによる土砂災害等のリスク周知が課題となっていました。県から補助を受け、前回のものを更新して作成しました。このガイドブック活用についての周知などは行っていませんが、「広報さかほぎ」9月号に防災特集を組むので、一緒に紹介します。



新しいハザードマップ(令和2年3月発行)

問 避難体制の見直しについて

浸水想定区域が変更になったことによる町避難体制の見直しについて、各自治会に対しての周知はされましたか？

答

総務課長

町内の半分以上が浸水する想定となりましたが、想定しうる最大規模の降雨の洪水(1,000年に1度)による浸水区域を反映するとともに、土砂災害(特別)警戒区域、地震ハザードマップについても、最新のデータを引用しています。各自治会への周知については、今後の防災訓練を行う場合などにしていただければと思っています。

問 「マイ・タイムラインによる 実効性のある避難体制の 確立」の推進について

国が主要施策に挙げる「マイ・タイムライン(個人の防災行動計画)づくり」について、現在の町及び教育委員会の対応を問います。

答

総務課長

町としての対応は現在行っていません。

今回、マイ・タイムラインについて、わかりやすく記載している県や市がありましたので(例:国土交通省関東地方整備局)、これを参考に町としてもホームページにアップしたり、各家庭への配布も考えたいと思います。

答

教育課長

教育委員会及び小中学校とも現段階での取り組みは難しいですが、今後検討します。



岐阜市の小学5年生が作成したマイ・タイムライン

問

コロナ禍の中での災害時避難体制について

浸水が発生した時の避難体制についてお尋ねします。

答

総務課長

コロナ禍で災害が発生した場合、坂祝町全体での避難所収容人数は約2,000人ですが、浸水を想定した場合には、更に約6～7割となります。よって、友人宅や、ホテル、親せきへの避難を考えていただかなければなりません。そのためには、町民の方がそれぞれ家庭でマイ・タイムラインをぜひ作成していただき、素早い避難をお願いしたいと思います。



伊藤敬宏 議員

問

クラウドシステムについて

前回、他の議員からの一般質問で「維持管理経費が高額・異常である。見直しについて求める」という質問に対し、答弁では令和元年度のシステム等の経費について、日立システムから情報センターのシステムへ移行をする方向で進めていく。その年独自のシステム改修等もあどこまで比較できるか非常に難しいところがあるとしたうえでの試算で、日立システムは約4,400万円、情報センターが約800万円、差額が約3,600万円と答弁されました。

しかし、この金額は平成から令和への対応等、突発的な作業費を主とした費用の比較となっておりまして、今回は、突発的な改修等が含まれた金額ではなく、年間の経常経費で比較した金額を教えてください。

答

総務課長

今回突発的な経費を省いた日立システムの経費を財務会計から拾い出したところ、令和元年度約3,600万円、平成30年度約4,480万円、平成29年度約4,000万円であり、概ね平均4,000万円となりました。情報センターについては、システムを入れなければどの程度の金額になるのかは積算できませんが、参考として他の町のおおよその数値をいただきました。A町（人口1万人）5～6千万円、B町（人口6千人）5千万円となっています。

問

町財政の見直しと施設建設の一時中断について

まだまだ、終息のめどが立たないコロナウイルス感染症、パジェロ製造株式会社の工場閉鎖による財政への影響は大きいのではないのでしょうか。そのような中、子育て支援拠点施設や、シルバー人材センターなどの建設を進めていくべきなのではないでしょうか。2つの施設を作ろうとすると5億、6億という大きな費用が発生すると思います。

建設自体を中止にするのではなく、今後の財政状況の分析や施設建設を含めた各種事業費の削減・見直しをしっかりと行い、足元を固めたうえで改めて施設建設等の大きな事業を再開するといった、柔軟な対応を行う必要があるのではないのでしょうか。今、本当に支援が必要な方々に手を差し伸べることが最優先事項ではないかと考えます。

答

企画課長

新型コロナウイルス感染症への対応やパジェロ製造株式会社の工場閉鎖などマイナス的な要因が多く重なり、また、これまでの財政調整基金の取り崩しによる事業実施など財政的には十分とは言い難い状況ではありますが、補助金や基金などを活用し、計画のとおり建設を実施してまいります。



林 重光 議員

問

デジタル化の果実を坂祝町に大胆に取り入れるとともに、オンライン、働き方改革や移住、魅力ある町づくりと質の高い地域社会を築いていくために、具体的な施策の進ちょくや見通しについて

- ①教育分野において「3密」を防ぎながら、切れ目のない学習環境の提供は重要です。オンライン学習の為の端末や機器の整備など、GIGAスクール構想関連事業との連携、さらには児童生徒・学生や教員が学校・自宅で使うICT環境の整備は急務と考えますが、どうなっているのか。今回はソフト部分の進ちょく状況について伺います。
- ②文化芸術、図書館、公共の施設など、人が集まる空間では「密」を可視化するためのオンライン情報やアプリなどを活用した予約システムの確立、プッシュ型の情報発信などが「安心」を担保すると考えます。また、文化芸術・スポーツの活動継続に向けた支援についても積極的に推進をすべきです。現在の取り組み状況と今後の見通しについて伺います。

答

教育課長

- ①ソフトについてはタブレット端末に合わせて3年間利用の応用パッケージとし、GIGAスクール構想タブレット端末整備分に合わせてソフトの部分も追加購入し通信環境も同時に整備します。
- ②施設の使用に伴うガイドライン及び各業界が定める業種別ガイドラインに沿って活動を実施しています。今後も文化芸術・スポーツの活動について、各ガイドラインに沿いながら

安心・安全第一に考え、継続的に活動できるよう支援していきます。

問

これまで地域コミュニティ中心に、高齢者・子育て家庭などの見守りや支えあいの社会を築いてきましたが、「新しい生活様式」に対応するため、オンラインツールの活用も重要です。

特に介護や福祉の分野では、ロボット技術やICT等の導入を用いたケアモデルの支援、個人の健康データの利・活用の推進などを図り、健康寿命の延伸につなげていくべきです。こうした課題にどう取り組まれるのか、見解を伺います。

答

福祉課長

今後も様々な情報提供を受け、利便性に優れた製品等があれば町内サービス事業所や支援を必要とする関係者等で情報共有しながら活用していきたいと考えます。

問

ITの浸透が人々の生活をあらゆる面でもより良い方向へ変化させるデジタルトランスフォーメーションによって、地域の価値を高めていく事により、移住や企業誘致を促進すると考えます。

そこで医療や住まい、交通などがアクセスしやすいサービスを、地域限定で整えたり、空き家を利・活用したワーキングスペースの整備や住宅の整備、自転車や自動車などを、多くの人と共有して利用する仕組みづくりを推進し、誰もが住み続けられる町づくりを実現すべきと考えますが、見解を伺います。

答

企画課長

先進的では無いかもしれませんが、財政的な負担なども考えながら、町の環境にあった必要な技術・手法などを見極め、無理のない実施を目指します。マイナポイントの開始によりマイナンバーカードの普及も増加傾向にあります。これらを上手く活用できるような施策を検討し、より利便性の高い事業を実施します。

9月定例会

令和2年第3回坂祝町議会定例会は、9月8日から9月18日までの11日間の日程で開催されました。提出議案は条例案件1件、予算案件6件、認定案件6件、その他案件5件、発議案件2件で、それぞれ審議・採決した結果、以下のとおりとなりました。

議案と審議結果

議案番号	議案名 主な内容	議決結果	議員名											
			①小島利成	③伊藤敬宏	④林重光	⑤和田雅彦	⑥松田和樹	⑦河村利道	⑧竹内浩一	⑨新共公正代	⑩松田賢治			
議案第35号	坂祝町手数料徴収条例の一部を改正する条例について 通知カード再交付手数料の廃止及び個人番号カード再交付手数料の改正	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	令和2年度坂祝町一般会計補正予算(第5号)について 1億1,141万円を追加し、総額を43億9,128万円とする	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	令和2年度坂祝町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について 4,236万円を追加し、総額を8億9,605万円とする	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	令和2年度坂祝町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について 224万円を追加し、総額を9,830万円とする	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	令和2年度坂祝町介護保険特別会計補正予算(第1号)について 2,727万円を追加し、総額を7億1,827万円とする	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	令和2年度坂祝町水道事業会計補正予算(第1号)について 水道事業収益14万円、水道事業費用27万円、資本的収入184万円をそれぞれ増額	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	令和2年度坂祝町下水道事業会計補正予算(第2号)について 下水道事業収益82万円、下水道事業費用82万円をそれぞれ増額	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	令和元年度坂祝町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 令和元年度水道事業会計未処分利益剰余金27,626千円のうち、25,000千円を建設改良積立金に積み立て、残余を資本金に組み入れ	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	令和元年度坂祝町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 令和元年度下水道事業会計未処分利益剰余金32,845千円を減債積立金に積み立て	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	町道の路線の認定について 町道黒岩83号線、黒岩84号線、黒岩85号線	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	財産の取得について 坂祝町GIGAスクール構想タブレット端末整備(追加分) 取得価格:21,116,700円	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	令和元年度坂祝町一般会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額34億4,813万円、歳出総額32億5,827万円	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	令和元年度坂祝町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額9億6,489万円、歳出総額8億9,115万円	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

		①	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
認定第3号	令和元年度坂祝町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 8,397 万円、歳出総額 8,164 万円	◎	○	○	○	○	○	—	○	○
認定第4号	令和元年度坂祝町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 6 億 1,197 万円、歳出総額 5 億 9,582 万円	◎	○	○	○	○	○	—	○	○
認定第5号	令和元年度坂祝町水道事業会計決算の認定について 収益的収入 2 億 1,359 万円、収益的支出 1 億 8,523 万円、 資本的収入 1,267 万円、資本的支出 5,120 万円	◎	○	○	○	○	○	—	○	○
認定第6号	令和元年度坂祝町下水道事業会計決算の認定について 収益的収入 3 億 88 万円、収益的支出 2 億 6,578 万円、 資本的収入 1 億 1,235 万円、資本的支出 1 億 2,542 万円	◎	○	○	○	○	○	—	○	○
同意第18号	坂祝町教育委員の任命につき同意を求めることについて 氏名：金武 千秋 氏 任期：令和2年10月1日～令和6年9月30日	◎	○	○	○	○	○	—	○	○
発議第2号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化 に対し地方税財源の確保を求める意見書について 国に対し、地方税財源の確保を求める意見書を提出しました (P11 全文掲載)	◎	○	○	○	○	○	—	○	○
発議第3号	コロナ差別を許さない緊急メッセージについて 町議会から町民のみなさまへ緊急メッセージ (P14 に掲載しています)	◎	○	○	○	○	○	—	○	○

委員さん、
どうぞよろしく
お願いします

教育委員

かねたけ ちあき
金武 千秋 さん



議会の決定で、町はどう変わるの？

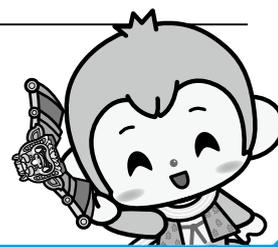
令和2年度 坂祝町一般会計補正予算(第5号)の主な内容

- 新型コロナウイルス感染症による事業中止(確定分) …… △ 24,273千円
(国際交流事業の中止、夏まつり・町民まつりの中止、非常事態宣言時の休業による給食原材料賄費など)
- 新型コロナウイルス感染症対策事業 …… 3,000千円
(雇用調整助成金の自社負担分に係る助成)
- 障がい者デイサービス利用料 …… 3,621千円
- 児童福祉に係る償還金 …… 13,763千円
(令和元年度の清算によるもの：児童手当、保育園など)
- 道路改良工事 …… 18,162千円
(舗装工事、拡幅工事)
- 発電機購入補助 …… 2,000千円
(自宅避難に備えるための購入補助1台上限2万円)
- 財政調整基金積立金 …… 80,450千円



意見書を採択しました

9月定例会において、次の意見書について発議、全員賛成により採択しました。採択した意見書は、内閣総理大臣ほか担当大臣等に提出しました。



新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

- 1** 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2** 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう、総額を確保すること。
- 3** 令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4** 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。
- 5** 特に、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。

委員長から報告があります！

令和元年度決算について総務委員会で審査を行い、認定しました。また、委員会からの意見や要望を伝えました。

令和元年度
一般会計の決算額

歳入(町に入ったお金) 34億4,813万円

歳出(町が使ったお金) 32億5,827万円

審査の結果

一般会計の決算収支では、歳入歳出の差引額は189,856千円となり、翌年度に繰り越す80,178千円を除き、実質収支額としては109,678千円の黒字であった。また、健全化判断比率及び資金収支比率についても健全化比率基準を下回っており、財政運営も健全であると認められる。今後も財政運営が低下しないよう努めていただきたい。

町税等の収納については、職員の努力により高い収納率となっている。滞納整理は大変困難で、かつ地味な職務ではあるが、財源の確保、税負担の公平性の原則から、引き続き努力をお願いしたい。全審査項目とも予算は適切に執行されていると認められた。しかし、改善する余地もあり、次のような意見・要望があった。

審査にあたっての意見・要望等

●企画課

- 令和2年度当初予算において、削減した事業内容についてもしっかりと評価を行い、次年度につなげられたい。
- 財政調整基金の保有残高については、今後の財政状況を注視しながら、目標金額を定めておくことを望む。
- 令和3年度当初予算編成において、町税の減収等の影響により投資的経費が削減される場合であっても、道路維持財源などの極端な削減により支障をきたすことのないよう留意されたい。
- コミュニティバスについて、町民がより認識しやすいような外装に変更するよう検討されたい。
- 財務4表を活用した予算編成を行う方針があるのであれば、しっかりと反映できる仕組みを構築していただきたい。また、外部団体への支出についても財務4表と照らし合わせるなどを行い、必要があれば決算審査に出席を求める。

●総務課

- 現在使用している日立システムズのシステムについて、岐阜県市町村行政情報センターのシステムへの移行を含め、比較できる情報を収集し、見直しを進められたい。

●教育課

- 教育管理施設の漏水について、今後発生することがないように必要な対策を講じられたい。
- 外国籍児童・生徒の就学支援について、美濃加茂市との定住自立圏構想連携事業のみに頼るだけでなく、坂祝町独自でも外国籍児童・生徒に対して適切な支援ができる環境を構築することを検討し進められたい。

●上水道事業会計

- 水道料金については、坂祝町は岐阜県内の市町村でも上位に入るほど高い。これまで東部広域化などの検討を進められているとのことだが、水道料金の引下げについて引き続き検討されたい。

また、岐阜東部上水道用水供給事業(県水)から購入する受水単価の引下げについては、首長レベルでも積極的な働きかけをしていただきたい。

日比野代表監査委員からの意見

- 経常収支比率が前年度89.6%から87.7%と改善したが、依然として高止まり傾向にある。今後、町の財政状況はより厳しい状況になることが思慮されることから、歳入にあっては、税等の自主財源の確保、収入未済額の減額に最大限努める必要があり、歳出にあっては、物件費補助金等の経常的支出についても、できる限り抑制するなど、各施策、事業の緊急性、重要性を考慮し、最小の経費で最大の効果が上がる事業に絞り、将来的に安定かつ持続可能な行財政運営を進め、さらなる町の活性化につなげていただくことを期待する。
- 基金管理について、長年に亘り利用されていない基金が見受けられるため、基金の目的及び使途等を整理し、さらに有効な活用方法を調査されることを望む。
- 農福連携事業について、令和元年度は事業実績が全く無い状態となっている。早急にリーダーの育成と関係機関（社協等）と連携を密にし、事業の再開を期待する。
- 国民健康保険について、令和元年度末の基金保有額は316,031千円、実質収支額73,742千円となっており、合計で389,773千円の残額を保有している。令和2年度より保険税率の引き下げを行っているが、今後の推移を見守りその動向に注視していく必要がある。
- 水道料金について、県営水道への依存度が高い可茂地区（特に加茂郡）の水道料金が高いように感じているが、県に受水料金の引き下げを要望されたい。

8月臨時会

令和2年第2回坂祝町議会臨時会は、8月7日に開催し、条例案件1件、予算案件1件、その他案件3件をそれぞれ審議・採決した結果、以下のとおりとなりました。

議案と審議結果

議案番号	議案名 主な内容	議決結果	議員名									
			①小島利成	③伊藤敬宏	④林重光	⑤和田雅彦	⑥松田和樹	⑦河村利道	⑧竹内浩一	⑨新井合正代	⑩松田賢治	
承認第13号	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度坂祝町一般会計補正予算(第3号)) 新型コロナウイルス感染症対策のため、スクールサポートスタッフ配置及び夏季休暇短縮期間の下校時における小学校スクールバス運行費用を追加	◎	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
議案第31号	坂祝町事業活性化支援利子基金条例の制定について 新型コロナウイルス感染症対策の支援策として、坂祝町事業活性化支援利子補助金交付要綱による利子補給の延長を行うための基金を設立	◎	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
議案第32号	令和2年度坂祝町一般会計補正予算(第4号)について 1億936万円を追加し、総額を42億7,987万円とする	◎	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
議案第33号	工事請負契約の締結について 町道寺東線道路改良工事 契約額：88,000,000円	◎	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
議案第34号	財産の取得について 坂祝町GIGAスクール構想タブレット端末整備 取得価格：37,180,000円	◎	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○

コロナ差別を許さない ～緊急メッセージ～

新型コロナウイルス感染症は、未だ収束の兆しが見えず、町民の皆さんは、マスクの着用、3密の回避、不要不急の外出自粛、手洗いの励行等の感染防止対策に努めながらも不安を抱えた日々の生活を送っています。また、この感染症を完全に回避することは難しく、誰もが新型コロナウイルスの感染者や濃厚接触者になり得る可能性があります。このような状況の中、各種報道を通じて、感染者や医療従事者、その家族などが差別や偏見、いじめなどの不当な扱いを受けたという悲しいニュースも伝わってきます。

坂祝町議会は、新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見を許さず、全ての町民の皆さんがお互いの人権を尊重しつつ、平穏に過ごせるよう、次のとおり緊急メッセージを發します。

1 新型コロナウイルスの感染者や医療従事者、その家族などに対する差別的な扱いや誹謗中傷を絶対に許さない社会を築きましょう。

2 わたしたちの暮らしを支えるために感染リスクと隣り合わせで働いている方々や事業者に感謝し、みんなで応援しましょう。

3 根拠のない噂話に惑わされたり、差別や偏見につながるような情報の拡散は行わないとともに、差別や偏見を助長するような言動は絶対にやめましょう。



令和2年9月

坂祝町議会



編集後記

今回の表紙は、コロナ禍での小学生の熱中症対策によるバス通学の様子を掲載しました。今夏の暑い最中、夏休みが短期間となってしまいましたが、子どもたちは元気に登校していました。これからインフルエンザの流行も懸念されますが、毎日元気に学校生活を送ってくれることを願うばかりです。

毎号わかり易い、親しみのある議会だよりを発行するよう心がけていますので、宜しくお願いいたします。

広報編集委員会

委員長 河村 利道 副委員長 小島 利成
委員 林 重光 委員 伊藤 敬宏

発行

岐阜県加茂郡坂祝町議会

編集

議会広報編集委員会

〒505-8501 岐阜県加茂郡坂祝町取組46-18 ☎0574-66-2402 (直通)

ホームページアドレス <http://www.town.sakahogi.gifu.jp>

メールアドレス gikaijimukyoku@town.sakahogi.gifu.jp



坂祝町ホームページ